

単元名 伝統文化を楽しもう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむとともに、作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。
- (2) 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- (3) 狂言や昔の人のものの見方・考え方への理解を深め、「柿山伏」を音読しようとする。

標準的な展開例

06010215_001

【教材名】狂言 柿山伏／「柿山伏」について

(P. 163～P. 175)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>★狂言を楽しみ、音読しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 (P. 163) で、題名やリード文、写真から狂言についてのイメージを広げる。 「狂言 柿山伏」の朗読CDを聞き、関心をもった点や疑問点などを交流する。 「狂言を楽しみ、音読しよう」という学習課題を設定し学習計画を立てる。 <p>2 「柿山伏」や「『柿山伏』について」を読み、狂言独特の言葉遣いや言い回しについて気付いたり、昔の人のものの見方や感じ方を知ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「狂言 柿山伏」を音読し、独特の表現と話の筋を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 狂言独特の言葉遣いや言い回しについて、現代の言葉遣いと比べて、思ったことや気付いたことを発表する。 「『柿山伏』について」を読み、理解を深めるとともに昔の人のものの見方や感じ方を知る。 狂言のおもしろさについて考える。 <p>3 グループで「柿山伏」の好きな場面を選び、音読の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな場面を選び、グループを決める。 グループで役割を決め、音読の練習をする。 <p>4 音読の発表をし、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読の発表をする。 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「柿山伏」の動画があれば視聴させたい。 教科書に載っている能舞台の写真を使って、狂言が演じられる場を押さえさせる。 登場人物や話の組み立てをつかませる。 教科書の脚注にある言葉の説明にも触れ、話の内容をつかませる。 【評】「狂言 柿山伏」を音読する活動を通して、言葉の響きやリズムに親しむ「知識・技能」を評価する。 狂言が伝えたいこと、時代背景が違ってても今と変わらないもの、時代背景が違うが故に今とは違う見方や感じ方があることを理解させる。 【評】「『柿山伏』について」を読む活動を通して、昔の人のものの見方や感じ方についての「知識・技能」を評価する。 この後の音読発表の交流に意欲がもてるように、狂言の魅力を十分に理解させたい。 【評】狂言のおもしろさについて考える活動を通して、表現の効果などを考える「思考・判断・表現」を評価する。 4人程度のグループを組ませる。 学級の実態に応じて、グループごとに好きな場面を選ばせてもよい。 せりふに合ったふりを付けさせたり、演じさせたりしてもよい。 どんなところを工夫して音読しているかを考えながら聞かせる。 【評】音読を発表する活動を通して、現代とは異なる昔の人のものの見方・考え方を知らうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 音読発表の感想を交流し、狂言や昔の人のものの見方・感じ方について、感じたことや考えたことをまとめる。

【 備 考 】